

霖 雨 御 書

弘安元年五月二二日 五七歳

山中のながき<sup>霖</sup>あめ<sup>雨</sup>、つれづれ申すばかり候はず。えん<sup>腕</sup>どうかし<sup>豆</sup>こまりて給ひ候ひ了んぬ。ことによるこぶよし、覚性房申しあげさせ給ひ候へ。恐々。

五月廿二日

日 蓮 花 押

御 返 事